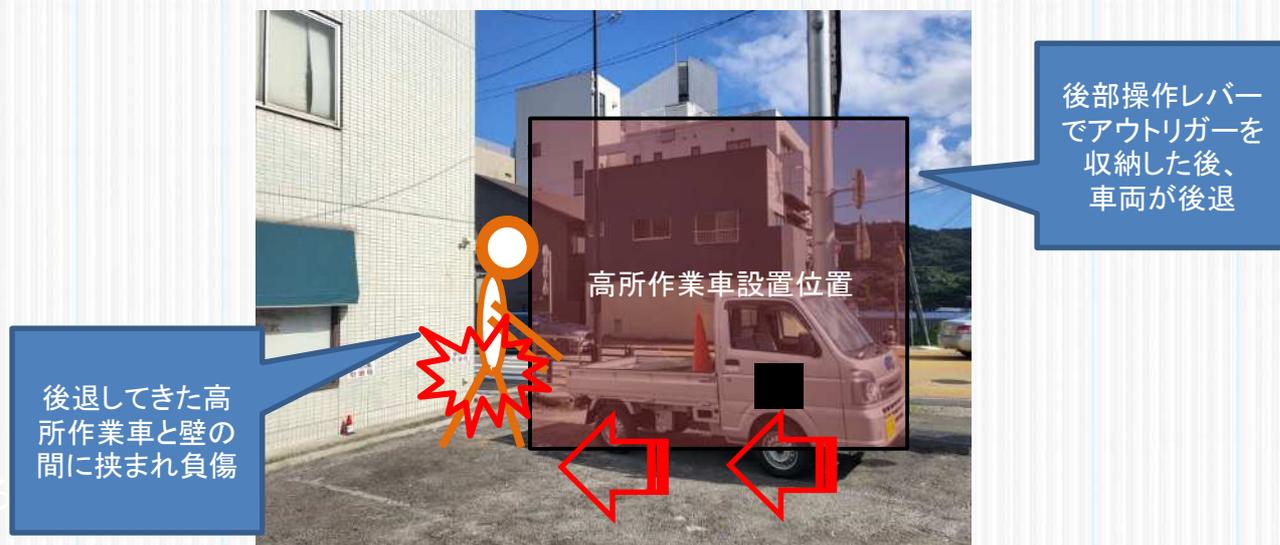


令和6年9月に発生した(主)熱海函南線で起きた挟まれ事故の紹介です。現場作業後の高所作業車の撤収作業中の事故で、最後まで安全確認が必要であることを再認識しました。

今後も工事事故事例や事務所独自の取組など情報を発信し、工事事故の防止を図っていきますので、よろしくお願いします。

高所作業車が後退し、作業員が挟まれ重傷

【令和6年9月12日 工事事故発生】



事故概要

道路照明灯の建柱作業が完了し、高所作業車の撤収のため、アウトリガーを収納したところ車両が後退し、作業員が高所作業車と壁に挟まれ負傷した。

事故原因

原因①

サイドブレーキが不十分であった。

原因②

アウトリガー収納前に車止めを外すなど操作手順を守らなかった。

原因③

撤収作業時は監視員不在で、単独作業であった。

熱海土木 工事事故 発生件数	事故 分類	工事関係 者(傷害)	第三者 (傷害)	第三者 (物損)	工事事故 合計	令和6年 9月末 現在
	件数	4件	0件	1件	4件	

再発防止策

再発防止策①

運転席及び操作部付近に**注意喚起の表示**を行う。

車止め設置を徹底する。

操作者以外の者が、駐車時と出発時前に駐車手順の確認をする。



注意喚起
運転席



注意喚起
後部操作部



注意喚起
運転席ドア



注意喚起
バケット内
操作部



車止め
設置

駐車時と出発時前に車止めが設置されていることを**操作者以外の者が確認**

再発防止策②

高所作業車の**操作手順書**を作成し、使用時の**KY活動**時に確認する。

再発防止策③

特別安全教育にて**単独作業を行わない**など**安全管理の周知・徹底**を図る。

上記、再発防止策は施工計画書へ記載！